

【今月のTOPICS】

- ◇P1 『所長コラム：てっぱくに行ってきました！』
『今月の言葉』
『サマータイム終了による通常営業再開のお知らせ』
『編集部より』
- ◇P2～3 『人の輪 数珠つなぎVol.25』
- ◇P4 『未来そうぞう塾レポート』

【発行者】

長田会計事務所
大阪市中央区徳井町2-2-9-701
TEL 06-6944-2111
FAX 06-6944-2110
MAIL nagata@office-smile.jp
HP <https://office-smile.jp/>

【編集部】

編集長	遠藤 悦代
部員	木下 心路
	池永 志歩
	圓山 恵実
発行責任者	長田 雅子



てっぱくに行ってきました！

先月に引き続き鉄道のお話です。先日東京で研修を受講し、帰りの新幹線までの時間を利用して埼玉県大宮市の鉄道博物館（通称『てっぱく』）に足を延ばし、親子連れに混じって、写真を撮りながら楽しく鑑賞しました。

館内は「車両・科学・仕事・歴史・未来」をテーマとした展示スペースに分かれており、入り口すぐの「車両」の展示室には明治時代から現代まで36両の車両がどっしりとした佇まいで並べられていました。



寝台特急列車富士

日本の鉄道技術の進化をたどる「歴史」の展示室では鉄道の歴史を大きく6つの時代に分けて紹介しており、その中でも特に興味深かったのは、鉄道が開業したことで「時間」の数え方が変わったことでした。時間の数え方も鉄道が入ってきたことで進化したのですね。

ちなみに私の推し車両は東京～大分間を走っていた「寝台特急列車富士」です。



今月の言葉



相互補完的な勉強は効率がいい

現在の1冊

『ハマトンの知的生活のすすめ』 P.G.ハマトン 編 三輪裕範 翻訳
株式会社 ディスカヴァー・トゥエンティワン 発行
P.G.ハマトン（1834～1894）芸術家、美術評論

何かを学ぶとき、関連することも同時に学ぶと学びたいそのものだけを学ぶより記憶しやすく、結果、2つの明確な知識を短時間で得ることができます。
一見遠回りなようで、とてもお得で役に立つ学び方です。



サマータイム終了による 通常営業再開のお知らせ

2023年10月2日（月）～
営業時間 9：00～17：00

上記日程より通常営業となります。
ご協力いただきありがとうございました。

編集部より

編集部の池永です。今月号の見どころは藤田さんのインタビューです。「人の輪数珠つなぎ」に携わるのは初めてでしたが、経営者の方にインタビューをさせていただくというとても貴重な経験でした。インターン生として入社した時は人との関わりが制限されていたので、こうしてまた人とつながる機会が増えたことをうれしく思います。

未来そうぞう塾は事務所スタッフが講師を務めた所内勉強会の様子です。講師を務めることで学んだことのアウトプットができ、知識の定着につながります。

今月号も楽しんでいただけると幸いです。





今回はKATACHI PHOTO PROJECT代表でもありフォトグラファーの藤田温様にご登場いただきます。藤田様には弊所のHPの写真を撮影していただきました。そういった撮影以外に藤田様は家の売却や解体前に、家の中の風景を写真で収める「キオクノキロク」という事業をされていて、様々な方の想いをカタチにしています。

今回のインタビューでは写真を始めたきっかけからこれからの展望までをお伺いしました。

**木下
藤田**

写真に興味を持つようになったきっかけは何ですか？

24歳ぐらいの時に祖父の遺品の中にカメラがあったのがきっかけですね。

何をどうやったらいいか分からない状態だったんですけども。

そんな時にたまたま昔からの知り合いでカメラマンをしている人に教えてもらっていました。

モノを撮っていても、ヒトを撮っている

**木下
藤田**

写真を撮るときに何を大事にしていますか？

キオクノキロクって家の中の風景や物を撮ってるんですけども、実は「人を撮っている」っていう意識が一番大事にしていますね。その写真を見た家族が色々なエピソードを思い出せるわけですし、家族内のコミュニケーションツールにもなる。結局人に繋がってるんですよね。

青木

カメラが趣味からプロに移った時に意識したことはありますか？

写真が変わったりしましたか？

藤田

以前は自分が撮っていて気持ちいい写真が多かったかも。

やっぱり人に喜んでもらいたいとなると、考え方とかアングルが変わってくる。

「どういう風景を残したら嬉しいと感じてもらえるか」という視点を持つようになったかな。

写真の力

**青木
藤田**

「キオクノキロク」を始めたきっかけは何ですか？

相続手続支援センター関西（大阪市福島区）の長井所長から相談を受けたのがきっかけです。「海外に移住している方がご実家の片づけを業者に依頼して、ご自身が関わらないままご実家がなくなってしまうのに違和感があんなん」って。

僕も初めてのことでどこまで出来るか分かんけど、とにかくご実家を写真で届けようってなったんです。それで片付けが進んでる中で撮れるところを撮ったんですけども、その写真は長井所長からご家族様にサプライズで渡されたんです。

一同

サプライズだったんですか！

藤田

そう！僕も知らなかったんです（笑）

後から聞いた話ですけども、全部終わりましたよって報告を家族様にする時に「実は私、実家嫌いやったのよ」って

言っていたそうなんですけども、娘様は家の写真を見て涙を流されたみたいなんです。それで「僕たちがしたいことは多分間違っていないぞ」と。

相続って想像以上に大変なことがたくさんあって、嫌なことばかり思い出すタイミングになってしまうこともあると思うんです。でも普段無意識に過ごしていた家族の風景を写真に残すことで、そうじゃないことにも気づく可能性を秘めてるなって後から気づかせてもらいましたね。

木下

藤田

嫌な思い出だけで終わらなくなるんですね。
「家を片づけなあかん、処分せなあかん、費用もかかる、手続きも山程ある、そして平日の仕事もせなあかん」なんて状態の時に、「思い出を大切に」なんて言われてもなかなか難しいと思うんです。だからこそキオクノキロクで撮った写真が「実は父や母がこういうことしてくれていた」

「ああそうなんや」って思えるようなものになったらすごく嬉しいね。



これまでの活動をまとめたノートを見せていただきました。

木下 終わってしまったことのイメージが変わるってすごいことですね。
藤田 それは本当に写真そのものが持つ力なんやろうなと思う。

「家じまい」がセレモニーになってほしい

藤田 「家じまい」ってネガティブなイメージありますよね？
物悲しいなっていうのは当然あるものだと思うんですけど、
ネガティブなイメージしかないことは僕はすごい違和感があるんです。そこで暮らしていた子供家族は実家を閉じて、
違うところで生きていくわけですし。以前、キオクノキロクの
撮影の時に、子供だけじゃなくて孫世代まで大集合して皆で
思い出を話しながら撮影したことがあるんです。
その閉じる家の中で語り合ってる風景こそが美しく、
素敵な家の閉じ方やあって。撮影しながらすごく綺麗な
セレモニーを見させてもらってるみたいな感覚になったんです。

木下 大事な場面に、親族でも何でもない人が入り込むのは
難しいのではと思うのですが...

藤田 そうなんです、だから事前のヒアリングとかにめちゃくちゃ時間をかけてます。
実家っていいことばかりじゃなくて悪いことも含めての実家やと思うんで、
家族の一員とは言えなくても、せめて正月に顔を出す親戚くらいの距離感は毎回目指してます。
元々、人とお話するのが大好きでよかったです（笑）



過去に撮影した写真を見せていただきました！

写真が持っている可能性をもっと広めていきたい

木下 藤田さんはこの先、5年後、10年後をどう考えておられますか？
藤田 写真には見た人の気持ちに作用する力があると思っていて、
「写真が持っている可能性をもっと広めていきたい！」が
今の夢かな。特に「キオクノキロク」はいろんな分野で
活用されていってほしいと思ってます。写真って今はデジタルで
簡単に撮影できる反面、それを活用する場面はどんどん無くなって
いってる感じがしてるんです。デジタルとアナログの良さを
上手に組み合わせて、もっと写真を活用していこうぜ！って動きを
率先してやりたいですね。

一同 これからのご活躍を楽しみにしています！

藤田さん、インタビューにご協力いただきありがとうございました！



記念撮影をしました！
中央におられるのが藤田さんです。

写真について話しておられるときの笑顔がとても印象的で、「人と話すことが大好き」とおっしゃって
いましたが、本当に大好きなんだということがインタビューをしていてとても伝わってきました。

藤田さんが撮影する写真には人とストーリーが感じられ、見ると自分がそこにいなかったはずなのに、
いたことがあるような感覚になり、「人を撮っている」ということを実感しました。

インタビュー前は私も「家じまい」に対してネガティブなイメージを持っていました。楽しかった記憶を
思い出す暇もなくバタバタと過ごす中で、早く終わらせてしまいたいものとなってしまっていたからです。
写真を見せていただいて「ここにおばあちゃんがいつもいて...」という話を聞いたとき、私の祖母にも定位置が
あったことを思い出しました。ひとつ思い出すといくつも思い出が蘇り、写真の力を強く感じた瞬間でした。
帰るころにはとてもあたたかい気持ちになった、素敵な時間でした。

お忙しい中インタビューさせていただき、ありがとうございました。

編集：池永



フォトグラファー 藤田 温

Instagram



Facebook



HP



KATACHI PHOTO PROJECT

Mail : info@katachi-photo.com

キオクノキロク運営事務局

一般社団法人つむぐ

TEL : 0120-537-033

(平日10:00～18:00)

未来そうぞう塾

6月7日@長田会計事務所

動画作成をやってみよう！

講師：スタッフ圓山

動画の概要から作成の流れまで、メリットとデメリットも一緒に学びました。
講座の後半には短い動画を作成し、「動画作成は楽しい！」と感じる勉強会でした。



専門用語が図解されていて初めて聞く言葉でも理解が
しやすかったです。
実際にソフトを触ってみることで作成方法も知ることができ、
動画作成のおもしろさと想像よりもソフトの操作の自由度が
高いのが新しい発見でした！

スタッフ池永



動画作成を
やってみよう！
～未来そうぞう塾～
長田事務所

7月5日@長田会計事務所

もっと簡単に便利なパワポの勉強会

講師：スタッフ木下

見やすいパワポとそうでないパワポを比較しながら実践的に学びました。
図形や余白、カラーバランスまで、すぐに使える知識が身につく勉強会でした。



見やすいポイントの示し方やグラフの作成方法など
実践的な内容を学べてためになりました。
特に矢印やふきだしは簡単な図形を組み合わせで自作できると
知った時は目から鱗でした！大学での発表にも活用したいです。

インターン生青木



もっと簡単に便利な
パワポの勉強会
講師：木下心晴

8月2日@長田会計事務所

エクセル勉強会

講師：スタッフ池永

エクセルの基本と簡単な関数を実際に操作しながら学びました。
エクセルを全く触ったことのない人でも身近に感じてもらえる勉強会でした。



エクセルは難しそうという先入観が強かったのですが、
こんなにも便利で使いやすい機能がたくさんあるのかと
驚きました。

関数やグラフの作成など、勉強会の中で実際にエクセルを
触ることで、より深く理解することができました。

インターン生平瀬



Excel勉強会
長田事務所
長田 実希

ぜひご覧ください♪

HP

ブログ、Facebook、Instagramなど
コンテンツが盛りだくさんです！



HPへ移動します

YouTube

毎月5日定期更新中♪
ぜひチャンネル登録をお願いします！



チャンネルへ移動します